

平和統一
主日説教

敵意を滅ぼす十字架

〈ルカによる福音書6:27〉



李相勲牧師 (韓国留学中)

今年に入って、南北および米朝関係を取り巻く状況が急展開を見せています。2月には韓国の平昌で開催されていた冬季オリンピックに合わせて北朝鮮代表団が訪韓し、4月27日には板門店にて南北首脳会談が開催されました。そして、6月12日には史上初となる米朝首脳会談がシンガポールにて開催されました。これらの一連の動きによって、戦争状態を終結させる「平和協定」締結への期待が高まっているのではないかと思います。ご存知のように、朝鮮戦争は「休戦」状態にあるのであって、いまだ終わってはいません。平和協定は、朝鮮半島のみならず東アジア全体に平和をもたらすものとなるでしょうから、日本に住む人びとにとっても重要なものとなることは改めて言うまでもないでしょう。

南北分断に関しては、忘れられない記憶があります。当時（1980年代後半）私は民団系の民族中学校に通う3年生だったのですが、ある日私たちの学年が、ある団体主催の記念式典に学校を代表して参席することとなりました。その式典の終わり頃だったかと思いますが、式典に参加した大人たちが突然拳を振り上げたかと思うと、「北鬼を粉碎しろ！」と叫んでシュプレヒコールを開始しました。在日コリアン間にある38度線の存在は知識としては知っていましたが、そのような露骨なかたちで「敵意」が剥きだしとなった現場にはそれまで居合わせたことがなかったので、非常に驚き当惑してしまいました。在日社会にある38度線という「敵意の壁」の高さをさまざまと見せつけられる出来事でした。

在日大韓基督教会（KCCJ）が総会レベルにおいて朝鮮半島に関する平和統一宣教を開始するのは1980年代に入ってからのことですが、この時期になってようやくそのような取り組みが始められるようになったのも在日社会内にある38度線の深刻さのためだったのかもしれません。しかし、1980年代以降にKCCJが平和統一に関して果たしてきた役割は、充分であったとは言えないかもしれません、決して小さいものではありませんでした。KCCJは、1981年に「民族統一小委員会」を設置して平和統一に関する取り組みを開始します。その後、1988年に「民族統一に関する在

日大韓基督教会総会宣言」（総会宣言）を発表し、それに基づいて平和統一宣教を具体的なかたちで展開しはじめました。例えば、8月15日前の主日を「平和統一主日」として守ってきました。また、「祖国の平和統一と宣教に関する基督者会議」を8回（1990年～2002年）にわたって日本で開催し、南北のキリスト教界代表が出会い、平和統一について考え祈ることのできる場を提供してきました。

総会宣言では、キリストの和解の福音に立って在日間の和解と朝鮮半島の平和統一の実現に向けて取り組むことがKCCJの宣教の課題であることが述べられています。この「和解の福音」について最も明瞭なかたちで記した聖書箇所は、キリストの十字架を通して「敵意という隔ての壁」が取り壊されて平和と和解が実現したと宣言するエフェソ2章14～16節です。ところで、ここで注目しておきたいのは、イエスに従う者はそれぞれ自らの十字架を担わなければならぬとするイエスのみ言葉です（例えは、ルカ9:23）。では、自らの十字架とは何を意味するのでしょうか。さまざまなことが言えるでしょうが、その一つは、「汝の敵を愛せよ」（ルカ6:27）とのイエスのみ言葉に従って自らの中の敵意を滅ぼすことであると言えるでしょう。

ここで重要なことは、敵意を滅ぼすということは、怒りをもってはいけないということではなく、自分の中の憎悪を滅ぼさなければならないということです。ある人が、怒りは不正義がはびこる状況を創造的に変化させる力ともなりうるものであるが、憎悪は破壊だけを目指した力であると述べています。この意味での憎悪とは例えば、反共主義をかかげて対話を拒絶してしまう態度や排外主義的な言行などのことであると言えるでしょう。

私たちの中には反共主義という憎悪があるかもしれません。また日本社会には、マスメディアなどによって掻き立てられた北朝鮮に対する敵意・憎悪が充満しています。このような中にあって私たちは、平和と和解をもたらすキリストの十字架のみを仰ぎみつつ、敵意を滅ぼすそれぞれの十字架を担う中でキリストの和解の福音を証しする者となりたいものです。



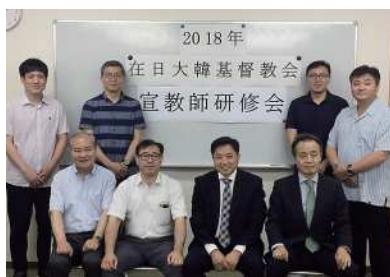
宣教110周年記念 講壇掛・ストール販売

在日大韓基督教会110周年準備委員会は、大会を記念してKCCJのロゴ入り講壇掛・ストールを制作・販売いたします。価格は講壇掛・ストール共4色セットで各1万円（約半額）講壇掛・ストール両方ご購入の場合は1万5千円です。記念大会会場で販売します。



2018年度宣教師研修会開催

4名の宣教師が在日同胞史などを学ぶ



宣教協約を結んでいた韓国の各教団から派遣されて本総会に加入し、任地へ赴くことになる宣教師教育のための研修会が、7月9日～19日まで在日総会神学校に於いて4名が合宿して参加した。

教育科目としては、在日大韓基督教会の神学と宣教理念、歴史、憲法と規則、在日同胞の歴史、日本のキリスト教会の神学、教会史、エキュメニカル神学、儀式と礼典に加え、総会事務局を訪問して年金や総会行政などの説明も受けたほか、日本基督教団、在日本韓国YMCA、日本基督教協議会（NCCJ）、R A I K、マイノリティ宣教センターなども訪問した。

今回の研修会に参加した宣教師は、姜宇烈牧師（大神、奈良教会）、張承權牧師（監理、東京中央教会）、金成彦牧師（基長、下関教会）、金伸禹牧師（統合、大阪教会）で、2018年9月17日の神学考試委員会の加入考試を受けることになる。

プログラムの途中、関東地方会所属の教会をいくつか訪問し、温かい歓迎と食事のもてなしを受けながら各教会の歴史や状況、宣教的課題などを聞いて実のある交流の時を持った。

西南地方会

辛治善牧師委任式挙行

福岡中央教会に新たに赴任



2018年7月1日西南地方会において、辛治善牧師の福岡中央教会の牧会を委ねる委任式が執り行われた。

西南地方会の諸教会から大勢の方々が参席した委任式は、臨時堂会長の崔栄信牧師の司会、西南地方会長の李惠蘭牧師の司式で行われ、説教は朴米雄牧師が「御言葉に全力を！」（テモテⅡ4:1～5）という題の力ある説教があった。委任牧師への誓約、祈祷、宣言が出された後、勧勉と祝辞などが行われた。

この度福岡中央教会に委任された辛治善牧師は、1967年韓国で生まれ、牧園大学校の神学大学を卒業し、2001年に基督教大韓監理会で牧師按手を受けたから2007年に宣教師として派遣され10年間別府教会で牧会した。

家族は夫人の劉眞瑛牧師と一男一女がいる。

浜松教会

朴貞娘長老将立式挙行

3人の勧士就任式も同時に



2018年7月8日浜松教会において、朴貞娘長老の将立式及び、朴成子、金敬愛、朴南伊勧士就任式が挙行された。

権潤日担任牧師の司会のもと中部地方会長の崔和植牧師の司式で行い、全炳玉牧師が「福音のための者」（使徒16:9～15）との説教をされた。

この度、浜松教会に将立された朴貞娘長老は、1957年韓国で生まれ、1994年朴茂樹牧師から洗礼を受け執事、按手執事として浜松教会を仕えてきた。

西部地方会

2018年度伝道集会を開催

「さあ、讃美しよう救い主イエスに」主題に

2018年6月17日（主）午後、神戸東部教会において西部地方会伝道集会「御言葉と讃美の集い」が、「さあ、讃美しよう。救い主イエスに」の主題のもと開催された。講師に同志社大学神学部教授である関谷直人牧師を迎えて、礼拝と讃美集会、交流の時を持った。

礼拝では「創造の力に委ねる」という題目で関谷直人牧師により、恵みある豊かなメッセージがなされた。その中で関谷牧師は、牧師と神学部の教授に至るまでの様々な人生の過程を証しし、全ての経験が現在の牧会と教育のために実を結んだことは主のご計画と導きであることを語った。聖句は「主は陶工師」であることを例えているが、失敗しても悔い改めるなら再創造なさる憐れみと権威を持つ「創造主」であるが故に、私たちはその神に依り頼み、委ねて生きることが必要であることが語られた。

第二部においては、関谷直人牧師により「讃美の集い」が尊かれ、リビングプレイズやアメリカンゴスペルと共に讃美する時間を持った。
(報告: 伝道部長
金承熙)



東京教会

民事訴訟、一审原告勝訴

金海奎牧師の免職処分を有効判断

東京教会の信徒らが、東京教会を相手どり、金海奎氏が東京教会の代表役員の地位にないことの確認と、代表役員の退任の変更登記手続きを求めた裁判において、2018年7月19日、東京地方裁判所は原告の訴えを認め、原告側の勝訴とした。

東京地方裁判所は、総会が金海奎氏に対してした免職処分は、金海奎氏が憲法委員会の判断に従わず視務長老二人を違法に罷免し、総会からの勧告を無視して長老の地位の是正や謝罪を行わなかったことを理由としたものであるとし、これは正当な理由であると認めた。またその手続きも正当なものであったとして、金海奎氏に対する免職処分は有効であるとした。

また、当該停職処分後に行われた2015年1月18日の公同議会は、金海奎氏が権限なく開いたものであり、総会が総会脱退決議の機関紙への広告掲載を拒否したことには理由があると認めた。よって被告の、免職処分は東京教会の総会脱退を阻止する目的でなされたものであり権利濫用であるとする主張を退けた。

(報告: 東京教会 張黎明執事)





第30回修養会行う 韓国蔚山チャリティーコンサート讃美の旅

西部地方教会女性連合会の第30回修養会「韓国蔚山チャリティーコンサート讃美の旅」が、6月21日～23日に行われた。梁栄友牧師の引率のもと5教会20名が参加した。

21日、女伝道会役員と交流し日本宣教のために祈っていると熱い思いを聞いて私たちも伝道への思いが強くなった。

22日、大韓イエス教長老会テフン教会の早天祈祷会と金曜祈祷会に出席しテフン教会の信徒と共に讃美し祈りをささげ聖靈の導きと臨在を感じた。

23日、この修養会のハイライトである蔚山老会女伝道会主催第33回世界宣教のための讃美フェスティバルが蔚山第一教会で開催された。約千名の参加者の前で私達20名が思いと心をひと

つにして“主の再臨の日まで”と“God bless you”を讃美し、大きなあたたかい拍手の中で神様に栄光をささげ恵みの時間を過ごすことができた。

滞在中、蔚山老会と女伝道会の方々の心のこもったもてなしを受けとても感動した。神様の導きにより讃美の旅を恵みのうちに終えることができた事を神様に感謝するとともに、私たち一人ひとり信仰者として神様から与えられている使命を改めて考えさせられる修養会であった。

(報告:尹豊子)



芮戌糞名誉長老召天 KCCJ初の女性長老として多大に奉仕



去る2018年7月11日、京都南部教会の芮戌糞名誉長老が天に召され、前夜式と告別式が許伯基牧師の司式によって行われた。(享年96歳)

故・芮戌糞長老は1922年韓国で生まれ、1934年に渡日以来、困難な在日の寄留者として、また信仰者として生き抜いた生涯であった。

在日大韓基督教会において女性長老按手ができるようになってから最初の女性長老として1980年に按手を受け、京都南部教会に仕えた。また全国教会女性連合会の会長を歴任しながら関西地方会や総会のためにも大いに仕えた。

堺教会の金必順牧師は長女であり、京都南部教会の金周明長老は次男である。

全国教会祈祷力レンダー

*宣教委員会は今年、毎主日に全国の各教会のために祈りをささげる祈祷カレンダーを作成しました。共に祈りで結ばれましょう。祈った後は、その旨を伝えましょう。

在日大韓基督教会宣教委員会

8月に全国教会が祈祷する教会

- 5日：大阪南部教会(朴鴻淳牧師)、浪速教会(金鐘賢牧師)
- 12日：KCCJ宣教110周年大会(総会長 金鐘賢牧師・総幹事 金柄鎬牧師)、大阪西成教会(金武士牧師)
- 19日：豊中第一復興教会(朴栄子牧師)、高槻伝道所会(金宥良伝道師)
- 26日：永和教会、枚岡教会(崔亨喆牧師)

豊かな味、豊かな心。



代表取締役 吳永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

公 告

このたび、下記のとおり、宗教法人「在日大韓基督教会」の境内建物を新築しましたので、宗教法人法第23条の規定及び「在日大韓基督教会」規則により下記のとおり公告します。 2018年7月17日火曜日

信徒その他利害関係人各位
在日大韓基督教会代表役員 金鐘賢
記

1 理由

2016年7月に在日大韓基督教会所有の岐阜教会礼拝堂建物(所在地:岐阜県岐阜市長良海用町1丁目27番地)が地震によって破損し、礼拝活動ができなくなつたので、今後の礼拝活動を続けるために、境内に岐阜教会礼拝堂を新築しました。

2 建築場所、構造、種類、床面積

在日大韓基督教会所有の岐阜教会駐車場(境内所在地:岐阜県岐阜市長良海用町1丁目15番地1号、敷地面積325.87m²)に在日大韓基督教会所有の岐阜教会礼拝堂を新築。建物は、木造2階建て(1階:礼拝堂、2階:牧師館)、総床面積(230.27m²)。

3 起工及び竣工、入堂式

2017年10月15日起工、2018年4月30日竣工。
入堂式は、2018年9月1日午前11時予定

《訂正》

第775号東京教長治理判決の公告で、名前の漢字が間違っていましたので、お詫びして訂正いたします。

李秀男⇒李秀夫

《お知らせ》

2018年8月20日～24日、夏季休業のため総会事務局はお休みします。

大阪第一民宿【OSAKA STAY】

代表:鄭洪權長老／安姫子勧士(大阪教会)

大阪市生野区中川西3-9-6(大阪教会近く)

TEL 06-6777-7033 /携帯090-8538-4433

Kakao ID : ntip0033

Email:osakastay@dune.ocn.ne.jp

<http://www.osaka-stay.net>

大阪市指令許可書11549号

2018年日本基督教団・在日大韓基督教會 平和メッセージ

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」(マタイ5:9)

日本基督教団総会議長 石橋秀雄
在日大韓基督教會総会長 金鐘賢

わたしたちは、主イエス・キリストを救い主として、世にあって教会に呼び集められ、そして主イエス・キリストの名によってこの世に「平和を実現する」(マタイ5:9) 使命を帯びて遣わされている教会であります。この信仰的自覚に立ちつつ、わたしたちは、今遣わされているこの時代の世にあって、国家の政治の道が聖書の指し示す平和の道に反すると判断した時、黙認することなく、預言者の心をもって警鐘の声を挙げずにはおられません。

共謀罪について

「剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。」(旧約聖書イザヤ書2章4節)

衆院・参院本会議において、多くの反対の意見が表明されている中、十分な審議の時間を持つことなく、組織的犯罪処罰法改正案を可決した(2017年6月)ことに強く抗議します。

同改正において新設される「テロ等準備罪」の実質的な内容は、過去三度廃案となった「共謀罪」そのものです。そもそも同改正自体、憲法第31条に謳われている罪刑法定主義に反しています。また、その内容については、処罰の対象者が極めてあいまいで、一般人が処罰の対象となる可能性を排除することはできません。

さらに、この改正により、いわゆる「監視社会」体制作りが進められることが懸念されるほか、個人の内心の自由の侵害が現実のものとなること、また、市民の自主的で自由な活動が委縮してしまうことが予想されます。

わたしたちは、日本が、「剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする」との聖書の教えに学び、世界の国々相互の信頼関係を構築し、積極的に平和を実現していくための不斷の努力と取り組みを続けることを強く求めます。

大嘗祭について

来る2019年4月に現天皇が退位し、5月に新天皇が即位します。わたしたちは、天皇の代替わりに伴う儀式として予定されている大嘗祭について、以下の点から反対を表明します。

わたしたちは聖書の教えと信仰告白に従って、ただひとりの神を信じます。「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。」(出エジプト記20章3節) 従って、天皇を神格化するような祭祀を認めることはできません。

大嘗祭を国による行為として行なうことは、日本国憲法の保障する信教の自由、政教分離の原則に違反します。

前回の大嘗祭には、国費が支出され、三権の長が出席しました。国事と皇室祭祀とは明確に区別すべきです。

憲法改正について

過去四半世紀の日本の政治の流れを振り返るとき、わたし

たちは大きな危惧を抱かずにおれません。

特に、今日では憲法第9条をはじめとする改憲の動きを一層強めています。安倍政権は、『教育勅語』の学校教育教材採用を容認する答弁書を閣議決定しました。さらに、戦前に国民の内心の自由、表現の自由、集会結社の自由を脅かす弾圧装置として機能した治安維持法と酷似する「テロ等準備罪」(共謀罪) 法案を成立させ、それは施行されることになりました。

これら一連の政治の動きを通して、基本的人権と平和主義の理念に立つ現行憲法に支えられてきたこの日本は今、自由と人権を尊重する民主主義と平和主義、そして国家権力の暴走を防ぐ立憲主義を崩壊させつつあると、わたしたちは認識し、強い危機意識を持つと共に、憲法改正の動きに反対します。

ヘイトスピーチ根絶に向けて

現在日本に住む外国籍住民は200万人を超えており、またグローバル化の時代、旅行者だけ数えても、日本から海外へ行く人々は一年間に2000万人近く、逆に日本を訪れる外国人3000万人に迫るとしています。このことは、日本、そして世界は様々な局面で外との交流なしには成り立たないということの証左であります。

そのような中、日本の国内では、相も変わらず在日コリアンをはじめとする在留外国人、特にアジア人に向けての偏見に満ちたヘイトスピーチが止みません。二年前に「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律」(いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」)が施行されたものの、法律自体が何の罰則を科さいなものであり、そのすきを突くような形でヘイトスピーチは巧妙化しています。

神は人をその姿に似せて作られたと聖書にあります。ヘイトスピーチはその人間の尊厳、靈的な部分を深く傷つける罪に他なりません。一日も早く、このような愚かな行為が日本、そして世界から根絶されるよう、わたしたちは祈りと必要な行動を共にして行きます。

日本基督教団と在日大韓基督教會は、以上のような信仰的立場を共有しながら、1984年2月に和解と協力の宣教協約を締結し、今日に至るまで、福音伝道に協力し合いながら世の平和に歩んでまいりました。今後もわたしたちは、朝鮮半島において和解と平和を希求する活動に対して積極的に呼応しながら世界の平和、核兵器の無い平和な世界を目指します。

主イエス・キリストの恵みと平和が、すべての人の上にありますように。

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。

10名様～200名様の会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャンギ・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月～2年、短期研修)

関西◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャンゴ)

税込	平日	休日
シングル	¥6,700	¥6,200
ツイン	¥10,500	¥9,800
トリプル	¥13,500	¥12,600

※朝食¥200(宿泊者価格)

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職員割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782